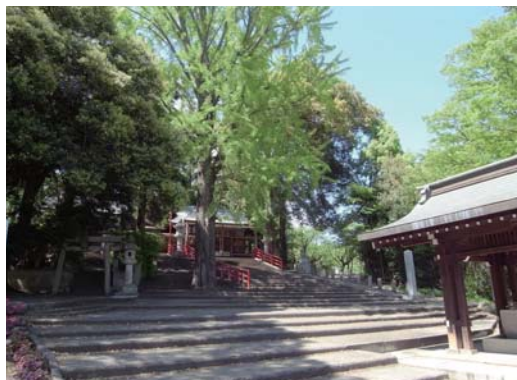


# 2012 わがまち風景賞

この賞は、桐生市の個性あるまち風景を形成している建造物や空間等のうち、特に良質な風景を創出しているものを表彰し、まちなみの保存と活用、ならびに市民の都市風景に対する意識の高揚に寄与することを目指すもの。12回目となる今年も5件の案件と特別賞が選出された。



美和神社境内摂社  
桐生西宮神社

所在地／桐生市宮本町 2-1-1  
宮 司／前原 勝

美和神社境内にある摂社桐生西宮神社は、兵庫県西宮市のえびす宮総本社西宮本社の直系分社として、明治34年11月20日に分霊勧請された。社殿は明治38年に落成した。御祭神は、蛭子大神（ひるこおおかみ）で、毎年11月19日・20日の例祭・ゑびす講は、関東一の賑わいを見せている。神社付近は、背後に桐生が岡公園が広がり、松、杉、大ケヤキ、桜などの巨木群が鎮守の森を形成している。



吉田家住宅

所在地／桐生市川内町 5-2588  
所有者／吉田和子

桐生織物発祥の地とされる川内町、山田川源流の清冽な流れに沿って、江戸時代から16代にわたって連綿と続く旧家・吉田家がある。山田川の両岸に堅固な石垣を積み、板塀を巡らせた山あいの敷地内に主屋と三つの蔵、二階建の作業場（蚕室と水車小屋）が建てられている。現在の当主は吉田和子氏、父親は県議会議員を務めた吉田清之介氏である。



大川家住宅

所在地／桐生市梅田町 4-594  
所有者／大川敏夫

自然豊かな梅田町1丁目に3連のノコギリ屋根工場と住宅が静かに佇み、すぐ近くを桐生川が流れている。住居部分の朱色の屋根が背景の山々に映え、里山の原風景を感じさせる。住居は、昭和初期に立てられたもので、築80年以上。二階部分は蚕室として使われていた形跡が屋根に残っている。現在ノコギリ屋根工場は使われていない。



藤直織物

所在地／桐生市広沢町 5-1175  
所有者／藤生敏夫

現役で稼働している3連のノコギリ屋根工場は昭和31年に建てられたもの。6代目となる藤生敏夫氏は、昭和50年に家業を継ぎ、現在は、打ち掛け生地（白無垢）、帯（掛下帯、丸帯、夏帯）などを主に生産している。敷地内には住居、工場、寄宿舍、蔵などが当時の面影のまま残る。特に住居は築180年の歴史を持ち、趣のある庭とともに有力機屋の風格を今に伝えている。



中村家住宅と  
津久瀬集落

所在地／桐生市黒保根町下田沢津久瀬  
所有者／中村兼男 地区会長／小林基男

黒保根町下田沢の津久瀬地区は、渡良瀬川に沿った国道122号線の下田沢交差点から沼田方面の急な坂を登った一帯の小集落。津久瀬集落の最も山側の高い場所に位置する中村家住宅も明治2年以降に建てられた大型養蚕農家。昭和4年に開局した水沼郵便局の初代局長を務めた中村基氏の生家である。



特別賞 芦川 弘志氏

若宮とうふ店（東5丁目）、林テル子邸（宮本町）、無鄰館、買場通り長屋（本町1）、林家住宅（東2）、桐生織塾（梅田町）、織物参考館“紫”（東4）など桐生を代表する古民家や工場建築物の修復を手掛けている。